

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>人権尊重の精神を基盤とする教育を推進し、学校教育目標の具現化を図り、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校・活力と魅力にあふれる学校を目指します。さらに、横浜版学習指導要領、横浜教育ビジョン 2030、横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領の理念に基づく授業づくりとそれを支える教育環境づくりを推進するために、以下の5点を目標とします。</p> <p>○ 「分かる」「できる」「楽しい」を実感できる授業づくりを進めます。 ○ 「あいさつ」「感謝」「けじめ」を大切にします。</p> <p>○ 心と体の健康を目指した生活習慣づくりを進めます。 ○ 地域に学び、地域の中で育つ活動を充実します。</p> <p>○ 交流・体験・表現を重視した活動を展開します。</p>	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		「あいさつ」「感謝」「けじめ」のできる子を育てるために、様々な交流活動の導入・開発、児童会活動の活性化、道徳教育の強化などを推進していきます。	①朝のあいさつ運動、なかよし班活動や人権週間の活動などの児童会活動の充実を進めます。 ②道徳の時間を核とする道徳教育の教育課程の精選・開発を進めます。(岡村いじめ防止基本方針に示す取組の充実。「いじめに関する項目」と連動) ③幼保小連携事業、小中交流日や地域交流クラブなどの交流活動の充実を進めます。
担当	特別委員会 たてわり部会他		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・「あいさつをする」「約束を守る」など、人とよりよく関わろうとする態度が身に付いている子どもが多い。しかし、自分に自信がない、素直に表現できない、コミュニケーションが上手にとれないなど、課題のある子どもも目に付く。
- ・多くの子どもは道徳的な価値を理解しているものの、集団の中で、適切な行動がとれない場面も多く見受けられる。
- ・保護者や地域は、学校教育への理解・支援の意識が高い。よって、保護者力や地域力を活かした教育活動の充実が求められる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 体験活動の充実

- ・様々な学習形態や話し合い活動を取り入れた学び合いを大切にするとともに、宿泊体験学習などのイベントの機会を効果的に企画・運営する。
- ・「なかよし班活動」「児童会活動」「クラブ活動」「幼保小中の交流活動」などの異学年交流活動を、年間を通して計画的・効果的に実施する。
- ・子どもたちが、保護者や地域の皆様とふれあい、生き方や地域のことを、学ぶ機会を工夫する。生活科やかがやきタイム(『横浜の時間』)の学習、ゲストティーチャーのお願い、地域行事への参加など。

指針2 「道徳の時間」の充実

- ・「特別の教科 道徳」についての研修を深め、道徳科やそれにつながる道徳教育をていねいに実施する。オリンピック・パラリンピック教育、自分づくり教育等から教材を開発・精選する。(「教育課程」の項目と連動)
- ・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年1回以上公開する。
- ・授業公開後、子どもと保護者にアンケートを実施し、その集計結果等を基に授業の振り返りを行うとともに、学校だより等を通じて「子どもの育ちや課題」を発信する。